

委員質問・意見等

第139回定例会（1月14日）受付分

（武本（和）委員）

● 東京電力 に対する 質問

相次ぐ東電の県内水力発電所の事故は、長年運用した施設の管理が疎かになっているためだと推測する。

今後、次々と別の事故が起こることを危惧する。原因究明は事故の背景や企業体質に踏み込み実施すべきと考える。

形式的謝罪だけでは無意味。東電の見解を問う。

第139回定例会後（1月16日）受付分

（高桑委員）

● 東京電力 に対する 質問

福島第一原発のがれき撤去作業中に使用した飛散防止剤に関して、12/31 朝日新聞の記事によると、メーカー推奨の濃度10倍希釈を100倍希釈とし散布回数も大幅に減らしていたとのこと。原子力規制庁は「この結果、昨夏に放射性物質の飛散がおきたとみられる」とコメントしていることも記されていた。

がれき飛散防止剤散布について、この記事に関する詳細について説明をお願いします。